

東京芸術祭 2022 野外劇事業計画

1. 事業枠組み：

主催 東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）〕

東京芸術祭総合ディレクター

宮城聡（演出家、SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督）

会期 プレ稽古：4月16日～4月25日

準備：5月～8月

稽古：9月11日～10月16日

本番：2022年10月17日（月）～10月26日（水）〔予定〕

会場 池袋西口公園野外劇場

全体スケジュール（予定）

日程	場所・会場	内容
4月16日～4月25日	都内	プレ稽古
5月～8月	都内	準備作業
9月11日～10月16日	都内	立ち稽古
10月11日～10月16日	池袋西口公園野外劇場	会場搬入・仕込み、リハーサル・GP
10月17日～10月26日	池袋西口公園野外劇場	本番（10回程度想定）
10月26日～10月27日	池袋西口公園野外劇場	会場撤収・搬出

※上演は1日に1ステージ、16時30分から18時まで予定。

事業担当 東京芸術祭実行委員会事務局 根本晴美

（アーツカウンシル東京企画室企画助成課アソシエイトディレクター担当係長）

2. 内容：

東京芸術祭 2022 野外劇

東京芸術祭において宮城聡総合ディレクターが提唱した3つのコンセプト「ひらく」「きわめる」「つながる」のうち、ワンコインで観劇できるハイクオリティな野外パフォーマンスを上演し、これまで劇場に足を運んだことのない人々が初めて舞台演劇に触れる機会と、まちなかの賑わいを同時に創出する「ひらく」を体現するプログラム。

【作品】

エミリー・ブロンテ「嵐が丘」

●演出

小野寺修二（おのでら・しゅうじ）

演出家。カンパニーデラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。1995年～2006年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーデラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースとした独自の演出で世代を超えた注目を集めている。第3回日本ダンスフォーラ

ム賞受賞。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。近年の主な演出作品は、横浜ダンスコレクション2019『見立てる』（2019年/横浜のげシャール）、『Knife』（2020年/神奈川芸術劇場）など。また、瀬戸内国際芸術祭にて野外劇『人魚姫』を発表するなど、劇場内にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。2015年度文化庁文化交流使。